



KAMEOKA FLY BAG

FLY BAG Project

2017年度の準備期間と、
昨年度ギャラリーかめおかで開催した
キックオフイベントを経て始動した
「かめおか霧の芸術祭」。

晩秋から亀岡を包む「霧」を
キーテーマと位置づけ、
従来の美術やアートのイメージを取り払い、
亀岡の自然や暮らしともつながりを持つ、
親しみやすい芸術祭づくりを目指しています。

このたび、亀岡市の環境政策（エコ事業）の
一環で芸術祭と連携して立ち上がったのが、
「KAMEOKA FLY BAG」です。



What's FLY BAG?

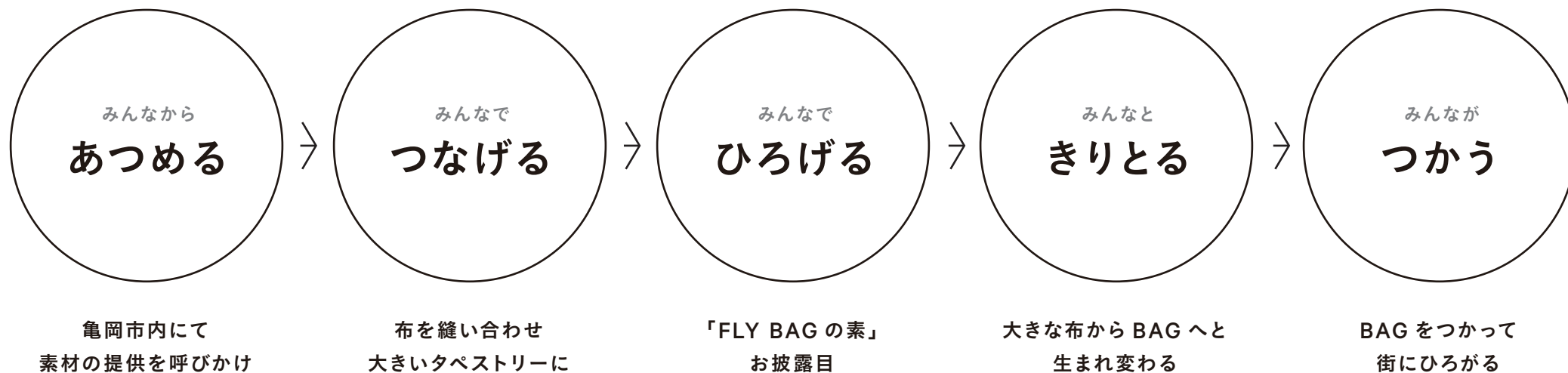
亀岡の山に近い上空を泳ぐ
色とりどりのパラグライダー。
この空に浮かぶパラグライダーと
私たちの地上の暮らし、
そしてエコが出会います。

「パラグライダーから FLY BAG に」

空中に浮かぶ軽さと丈夫さを誇る
ナイロン製の生地が、役目を終え
持ち主の手から離れ、
別のカタチへと生まれ変わり、
亀岡をめぐるプロジェクトです。



STORY



パラグライダーは安全性を考慮し、
数年ごとに操縦機を一式交換しなければなりません。
今回のプロジェクトでは、空を飛び終えた
パラグライダーの布を提供していただき、使用します。
空でひろがった布が、形を変えて、今度は街でひろがります。



あつめる ≷ つなげる

パラグライダーはそのままでは使えません。

集めたパラグライダーを解体して

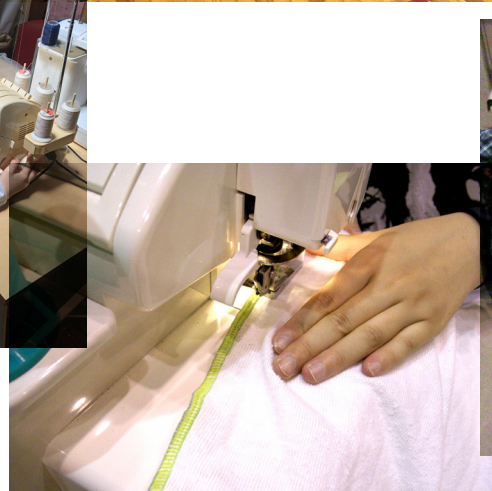
1枚の布にすることから始めます。

横幅 15m もある本体を細かく切り分けます。

細かなパーツに別れたそれぞれを

ミシンで縫い合わせ、1枚の

パッチワークされた布にしてゆきます。



ひろげる

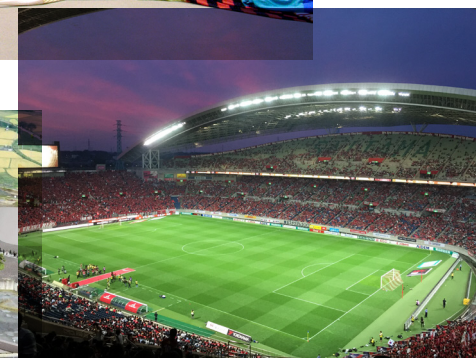
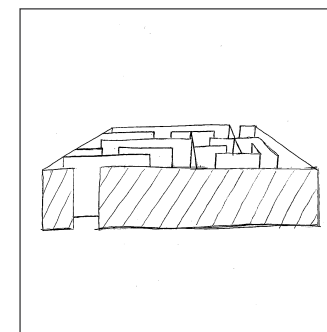
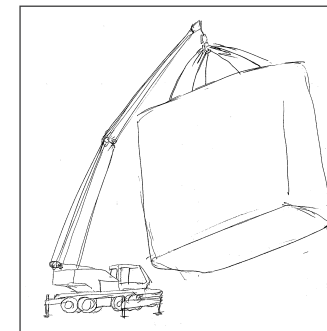
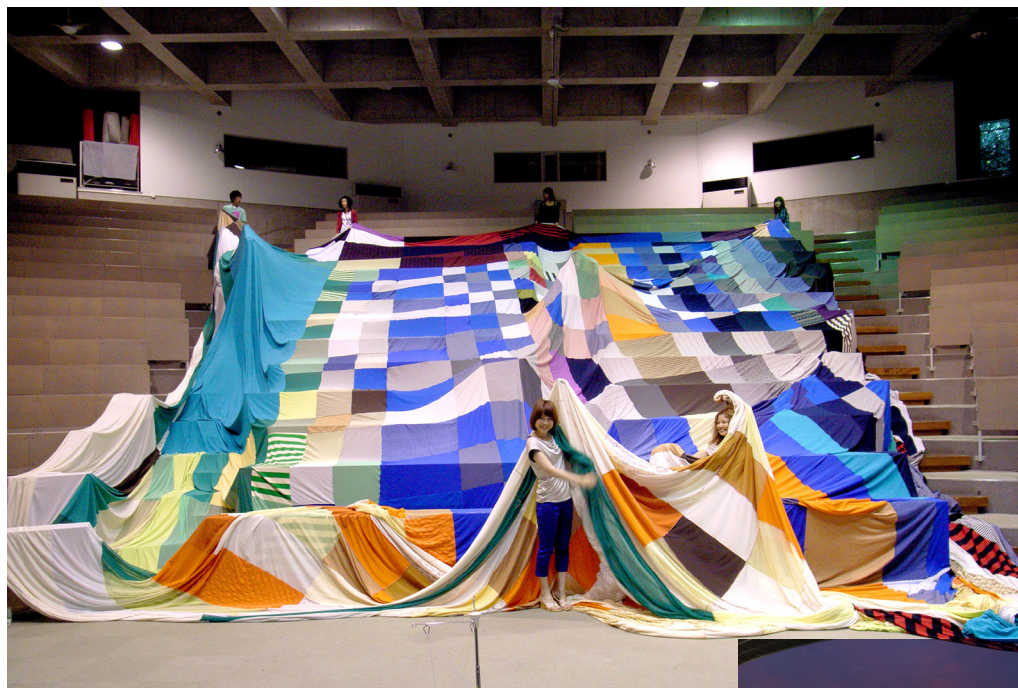
1枚の大きな布は「FLY BAG」の素。

この布がこれからたくさんの人のもとに

旅だってゆくことをみんなに知ってもらうために

1つの大きなオブジェクトとしてお披露目します。

*JR 亀岡駅周辺でのお披露目イベントを予定。



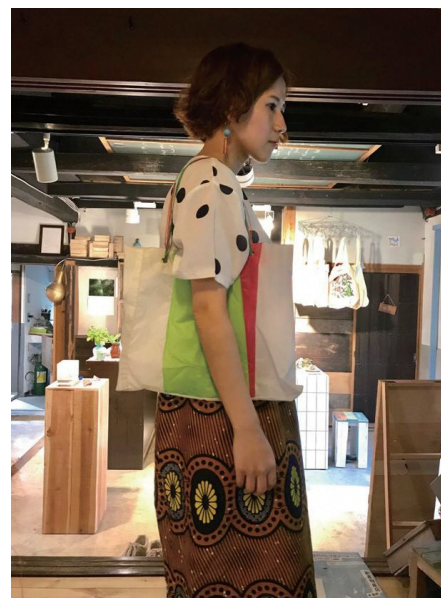
きりとる ➤ つかう

お披露目の後はいよいよ BAG へと
形を変える作業です。

ワークショップイベントとして、
来場していただくみなさんに
参加していただくことを予定。
好きな部分を切り取り、ミシンで縫製します。
そに日にその場でオリジナルの FLY BAG が
手に入る仕組みです。

縫製を行うミシン部隊は、亀岡の住人の方にも
お声がけし、FLY BAG 精鋭部隊を作りたいと
考えています。

手に入れた FLY BAG を片手にお買い物。
スポーツ観戦のお供にも。
農作業にだって使えます。



みせる

BAG になったその抜け殻も
1つのオブジェとして見せる作品になります。

抜け殻になった大きな布に
BAG になるまでの中身が詰まっています。



めぐる FLY BAG

パラグライダーから生まれ変わり、
人々が使うことによって広がってゆく
「KAMEOKA FLY BAG」。

空を飛んだ布が、
こんどは地を飛びまわる。

亀岡の景色を見た布で、
新しい景色をつくる。

そんなストーリーを持ったこの
「KAMEOKA FLY BAG」が、
亀岡をはじめとし、自然や暮らし、
環境に関心と呼び起こす
きっかけになればと思います。



運営・制作

東京で若者に絶大な人気を誇るファッションブランド「シアタープロダクツ」を主宰するファッションデザイナーの武内昭氏をアートディレクターに迎え、京都を拠点にグラフィック、ウェブ、店舗の空間構成など多岐に渡るデザイン業務を担うデザイナーズチームのUMMM（ムム）が制作リーダーとなって、このプロジェクトを推進します。



UMMM

主催：

亀岡市、かめおか霧の芸術祭実行委員会

協力：

一般社団法人亀岡青年会議所

Adapis 田路雅敏

アートディレクション：

武内昭（シアタープロダクツ主宰／ファッションデザイナー）

制作統括：

UMMM（ムム）（デザイナー）